

地元就職の参考に

高校生対象 市が企業見学会

若者の地元就職につなげようと、丹波篠山市は4、7の両日、高校生を対象にした企業見学会を開いた。初日は篠山東雲の1、2年生25人が、2日目は篠山産業の2年生67人が参加し、市内の製造業、医療・福祉関連、サービス業の企業を訪問。工場や施設を見学し、担当者から生の声を聞くなどして、就職の参考にした。

工場内を見学する篠山東雲の生徒たち。丹波篠山市西岡屋で。

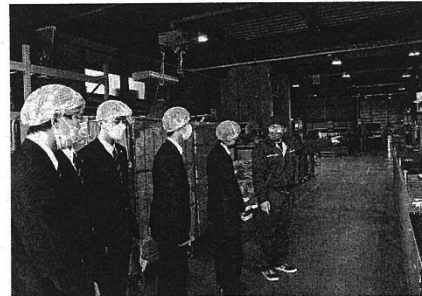
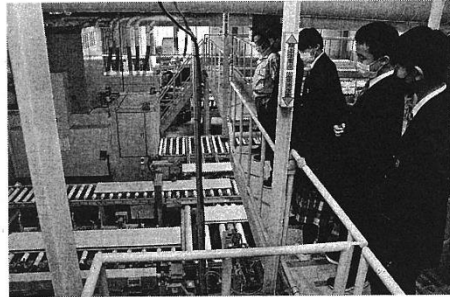
工場内で社員の説明を熱心に聞く篠山産業の生徒たち。丹波篠山市波賀野で。

リ単位で調整ができる充る成形機などを紹介。製品だけでなく、製品を作る設備や機械も自前で

「先生は、大手ハウスメーカー「積水ハウス」が取り扱う住宅の8割ほどに、同社が製造した商品が付いていることをアピール。「主な職種は生産、営業、開発。地元の人が多いが、長く働けば異動することもある」と、多様な働き方ができることも紹介した。

その後、高校生たちはクロゼットの扉を製造するラインを見学し、ミニ

現場を見学。・総務部長らが、加工する金型が約150種類あることや、空気圧で形を作



丹波新聞
2022年3月17日

作っていることなどを話と話していた。今回は、例年5月に実施していた企業見学会の対象だった教職員も参加しているんだなあと感じた。

君は「ほとんど施していた企業見学会の対象だった教職員も参加しているんだなあと感じた」